

取材のお願い

タイ出身 J リーガー チャナティップ・ソングラシン選手（北海道コンサドーレ札幌） 6月22日（土）U-18 国際親善試合のオフィシャルサポーターに就任！

U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs. U-18 東北選抜 国際親善試合「JapaFunCup」
国際交流基金アジアセンター主催、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）共催

国際交流基金アジアセンターは、6月22日（土）に開催する「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」のオフィシャルサポーターに、北海道コンサドーレ札幌のチャナティップ・ソングラシン選手が就任したことをお知らせいたします。

日本と東南アジアの文化交流の祭典の一つとして開催される「JapaFunCup」は、東南アジア 11 か国から選抜された U-18 選手からなるチーム「ASIAN ELEVEN」と、東北各県から選抜された U-18 選抜選手からなるチームとが対決する大会です。U-18 東北選抜選手は現在選考中で、手倉森浩（てぐらもりひろし）監督が率います。試合は、ナショナルトレーニングセンター J ヴィレッジ（福島県楡葉町）で行われます。東京 2020 オリンピック競技大会 聖火リレー出発地、ラグビーワールドカップのアルゼンチン代表合宿所など、世界と日本をスポーツでつなぐ拠点となりつつある注目の会場です。



本大会は、アジアセンターが 2014 年から行ってきた、アジア、世界のサッカーを担う人材の育成、及び国境を越えて知識・経験の共有を図る事業の集大成です。現在、J リーグの北海道コンサドーレ札幌で活躍するチャナティップ・ソングラシン選手は、こうした国際交流による若手育成に共感し、「JapaFunCup」を応援しています。



©2019CONSADOLE

チャナティップ・ソングラシン選手（北海道コンサドーレ札幌） 「JapaFunCup」オフィシャルサポーター

コメント：未来のアジア、世界のサッカーを担う若手世代に、海外選手と交流の機会を提供するこの「ASIAN ELEVEN」そして「JapaFunCup」によって、選手たちにさまざまな可能性が広がることを期待しています。オフィシャルサポーターとなることで、日本とタイの交流促進にも貢献したいと思っています。

プロフィール：北海道コンサドーレ札幌所属。タイ・ナコンパトム県出身。2014 年に東南アジアサッカー選手権で優勝、大会選定の最優秀選手賞を史上最年少受賞。愛称は、「タイのメッシ」。



©JFA

手倉森 浩（U-18 東北選抜 監督）

コメント：東日本大震災から 8 年の空白こそありましたが、新たな歴史が始まろうとしています。スポーツ復興・振興のシンボルである J ヴィレッジにおいて、「ASIAN ELEVEN」と相対するにふさわしい選手を選抜し、かつ選ばれた選手にとって今後の糧となる試合にしたいと考えています。

プロフィール：青森県五戸町出身の元サッカー選手。復興支援特任コーチを経て、現在 JFA 東北地域統括ユースダイレクター・ナショナルトレセンコーチ。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

U-18 東南アジア選抜「ASIAN ELEVEN」及び、U-18 東北選抜 行程（予定）

福島県での文化交流や、公開練習、練習試合なども予定しています。（取材のご希望は事前のご連絡をお願いいたします）

6月上旬	U-18 東北選抜 選手発表
6月13日（木）	ASIAN ELEVEN 選手来日
6月14日（金）	ASIAN ELEVEN 外務省表敬訪問
6月15日（土） 午後	ASIAN ELEVEN Jヴィレッジ入り
6月17日（月） 15:00-	ASIAN ELEVEN vs. 尚志高校 練習試合@Jヴィレッジ
6月19日（水）	U-18 東北選抜 Jヴィレッジ入り
6月19日（水）	ASIAN ELEVEN ふたば未来学園高等学校訪問
6月20日（木）	ASIAN ELEVEN 相馬市立桜ヶ丘小学校訪問
6月21日（金）	ASIAN ELEVEN 公開練習@Jヴィレッジスタジアム
6月21日（金）	U-18 東北選抜 公開練習@Jヴィレッジスタジアム

ASIAN ELEVEN サポーターの Little Glee Monster、6月22日（土）試合当日会場で生ライブ開催！

「ASIAN ELEVEN」のテーマソング「I BELIEVE」を歌う Little Glee Monster (リトルグリーモンスター) が当日会場で生ライブを開催いたします。

試合を彩る東南アジアフードフェスをJヴィレッジスタジアム特設会場で開催！（11：00-15：00）

サイドイベントとして、東南アジアを代表するフードやスイーツが、Jヴィレッジに集結いたします。

Jヴィレッジ駅、臨時停車を実施！

当日、Jヴィレッジ駅に列車が臨時停車する予定です。（詳細は追って特設 WEB サイトに掲載）

特別送迎バス運行！

いわき駅、郡山駅より送迎バスを運行いたします。

【各駅⇒Jヴィレッジスタジアム】

	いわき駅	郡山駅
各駅 出発時刻	11:30	
Jヴィレッジ 到着時刻	12:30	13:00

【Jヴィレッジスタジアム⇒各駅】

	いわき駅	郡山駅
Jヴィレッジ 出発時刻	16:30	
各駅 到着時刻	17:30	18:15



開催場所：Jヴィレッジスタジアム（福島県）



増田セバスチャン氏デザインによる「ASIANELEVEN」ユニフォーム及びロゴ



東北代表のユニフォーム。震災からの復興と、東北6県の強い絆がコンセプト

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

【国際親善試合「JapaFunCup」開催概要】

日時：2019年6月22日（土）

12:00 開門

14:00 キックオフ

会場：Jヴィレッジスタジアム

所在地：福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8

主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

共催：公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

後援：公益社団法人日本サッカーリーグ（Jリーグ）、外務省、復興庁、福島県

【特設ページ】 <https://asian-eleven.jfac.jp>

【関係者コメント、プロフィール】



古賀琢磨（サッカー指導者）

「ASIAN ELEVEN」監督

コメント：東南アジアの選手は身体能力、基礎技術のレベルが高く、伸びしろを持った選手が沢山います。一方で時々クリエイティブなプレーを見せてくれることもあり、驚かされます。今回の U-18 代表チームは、自分にとっても大きな挑戦です。短期間でチームをまとめ、力を最大限に発揮できるよう最善を尽くし、今後の東南アジアサッカーの布石となるようなものを残したいと思います。

プロフィール：静岡県出身。順天堂大学卒業後、ヤマハ発動機サッカー部（現ジュビロ磐田）を経てジュビロ磐田、清水エスパルス、セレッソ大阪で選手として活躍。引退後は、桃山学院大学サッカー部コーチ、セレッソ大阪 U-15 監督、セレッソ大阪西 U-15 監督などに就任。2011 年よりシンガポール、東ティモール、上海などでアンダー世代の監督を歴任。現在、国際交流基金アジアセンターと JFA の共催事業にて、ミャンマーサッカー連盟マンダレーアカデミー監督として指導中。ミャンマーナショナルチーム U-15 代表監督も兼務。



Little Glee Monster（ボーカルグループ）

「ASIAN ELEVEN」テーマソング提供

コメント：国境を越えてサッカーで東南アジアと日本をつなぐ「ASIAN ELEVEN」、「JapaFunCup」のコンセプトにとっても共感し、「歌で人をつなぐ」私たちも刺激をもらっています。特にサッカーは全国高校サッカー選手権大会の応援歌を担当させていただいたこともあり、ご縁を感じています。選手のみみなさんが世界へ羽ばたくように、応援しています。

プロフィール：力強い歌声と高度なアカペラをも歌いこなす透き通ったハーモニーを武器に、2014 年 10 月 29 日「放課後ハイファイブ」でメジャーデビュー。2017 年には世界的アーティストの Earth, Wind & Fire や Ariana Grande のジャパン公演でサポートアクトを務め、NHK 紅白歌合戦への初出場を果たした。2018 年には横浜アリーナ、大阪城ホールにて初のアリーナツアーを開催し、この年の NHK 紅白歌合戦にも出場。2019 年 1 月リリースの 4th アルバム「FLAVA」は、自身初となるオリコンウィークリーチャート 1 位を獲得した。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



増田セバスチャン（アートディレクター/アーティスト）

【「ASIAN ELEVEN」ユニフォームデザイン】

コメント：「ASIAN ELEVEN」の〈国境・人種・性別・年齢を飛び越えたカラフルな精神性・強さ・アツさ〉とチームが一丸となれるように〈世界という大海を渡る 1 つの生命体〉をユニフォームでデザインしました。ロゴは丸をモチーフにし、人・太陽・サッカーボールを感じさせるデザインにしています。選手の皆さんが世界中で情熱的なプレーをしてくれることを願っています！

プロフィール：第16回文化庁文化交流使、ニューヨーク大学客員研究員、京都造形芸術大学客員教授。演劇・現代美術の世界で活動した後、1995年にショップ「6% DOKIDOKI」を原宿にオープン。きゃりーぱみゅぱみゅ『PONPONPON』MV美術、「KAWAII MONSTER CAFE」のプロデュースなど、原宿のKawaii文化をコンテクスに活動。2014年よりニューヨークを中心に個展を開催。2020年に向けたアートプロジェクト「TIME AFTER TIME CAPSULE」を世界10都市で展開中。



公益財団法人日本サッカー協会会長 田嶋幸三

コメント：このような大会を開催できることを大変嬉しく思います。アジアの中での競争力の高まりが、日本サッカー界にとっても大きな刺激となり、またアジアが世界と伍していくためにも必要不可欠です。東南アジアは日本にとって地理的にも近く、親しみのある地域です。参加されるみなさんがJヴィレッジに集まり、多様な価値観やバックグラウンドを持つ人々との交流によって、様々な発見や、相互成長が促されることを期待しています。

プロフィール：熊本県出身。浦和市立南高校3年時に高校選手権優勝。筑波大学在学時、大学選抜の日韓戦出場をきっかけに、日本代表に選出される。古河電気工業サッカー部（現ジェフユナイテッド市原・千葉）にて選手として活躍後、2001年U-17日本代表チームの監督を務め、FIFA U-17サッカー世界選手権大会に出場。アジアサッカー連盟理事、FIFA理事/カウンスルメンバーなどを歴任し、2016年3月JFA会長に就任。公益財団法人日本オリンピック委員会の常務理事も務める。



国際交流基金理事長 安藤裕康

コメント：国際交流基金アジアセンターでは2014年の設立以来、アジアに共に生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指し、“相互交流”を大切にきた事業を展開してまいりました。これまで実施してきた、東南アジア諸国と対等の立場に立ち、各国のアイデンティティを尊重し、多様性の中で調和と融合を目指してきた事業の成果として、今年、「響きあうアジア 2019」を実施いたします。この中でも、このサッカー事業「ASIAN ELEVEN」は、東南アジア、日本共に多くの人に愛されるスポーツをテーマにしています。「ASIAN ELEVEN」の活動が、国際社会での日本のプレゼンス向上や日本社会における多文化共生促進の一助になればと願っております。

プロフィール：神奈川県出身。東京大学卒業後、1970年外務省入省。1986年南東アジア第二課長、1996年内閣総理大臣秘書官、1998年アジア局審議官。その後在米日本国大使館公使（特命全権）、外務省中東アフリカ局長、在ニューヨーク日本国総領事館総領事、駐イタリア特命全権大使等を経て、2011年10月に独立行政法人国際交流基金理事長に就任。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



「ASIAN ELEVEN」および「JapaFunCup」について

ASIAN ELEVEN は、国際交流基金アジアセンター、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が、東南アジアと日本の間におけるサッカー人材の育成、及びサッカーを通じた人々の相互理解の促進を目的として、2014年に開始したサッカー交流事業。これまでに、166人の指導者を日本から派遣し、3,000人以上の東南アジアの若いサッカー選手に指導を行ってきた。今年、本交流事業の成果発表の場として、東南アジア各国から男子18歳以下のメンバーを選抜し、チーム「ASIAN ELEVEN」を結成。デビュー戦として、6月22日（土）、福島県のJヴィレッジにて国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」を開催予定。

「響きあうアジア 2019」について（<https://asia2019.jfac.jp/>）

国際交流基金アジアセンターが主催する、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典。国を超え共に創り上げた舞台芸術や映画から、「ASIAN ELEVEN」国際親善試合、“日本語パートナーズ”のシンポジウムまで、お互いの文化が刺激あって生まれたイベントで構成される。国際交流基金アジアセンターがこれまで5年にわたり行ってきた相互交流の成果を振り返るとともに、日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となることが期待される。なお、「響きあうアジア 2019」は、同年に東南アジアでも展開予定。



国際交流基金アジアセンターについて（<https://jfac.jp/>）

国際交流基金アジアセンターは、2014年4月に国際交流基金内に新設された特別ユニットで、アジアの人々の間に共感や共生の心を育むため、「日本語学習支援」と「芸術・文化」を柱に、様々な分野で双方向の文化交流事業を実施しています。



日本サッカー協会（JFA）について（<http://www.jfa.jp/>）

日本サッカー協会は「日本代表の強化・組織」「各年代カテゴリーにおける競技会の実施」「選手・指導者・審判員の登録と育成」を行う、日本サッカー界を統括する代表組織。「国際交流・アジア貢献活動」にも力を入れており「サッカーを通じて子どもたちに明るい未来を与え、アジアサッカーの普及・発展につなげる」ことを目指し、46の国と地域が加盟するアジアサッカー連盟（AFC）のモデル協会として、AFC加盟協会に対するさまざまな支援活動を行っています。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com